2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社ハピネット	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7552	URL	https://www.happinet.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	水谷　敏之
問合せ先責任者	（役職名） 取締役最高財務責任者	（氏名）	石丸　裕之　　(TEL) 03-3847-0410
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月７日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	228,666	16.4	13,730	57.6	13,672	53.3	8,832	32.4
2026年３月期中間期	196,435	16.5	8,710	33.5	8,917	33.9	6,671	52.1

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　9,912百万円（　32.6%）　　2026年３月期中間期　　7,476百万円（　62.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	203.86	200.61
2026年３月期中間期	151.94	149.55

（注）2026年１月１日付で普通株式１株につき、２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり中間純利益及び潜在株式調整後１株当たり中間純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	164,216	66,634	40.3
2026年３月期	144,003	60,285	41.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　66,232百万円　　2026年３月期　59,883百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	25.00	―	80.00	―
2027年３月期	―	15.00			
2027年３月期(予想)			―	―	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

１.2026年１月１日付で普通株式１株につき、２株の割合で株式分割を行っております。そのため、2026年３月期第２四半期末の１株当たり配当金は、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。2026年３月期の１株当たり年間配当金合計は、株式分割の実施により、中間配当金と期末配当金との単純合算ができないため記載しておりません。なお、株式分割を考慮した場合の2026年３月期第２四半期末の１株当たり配当金は12円50銭、年間配当金合計は92円50銭となります。

２.2027年３月期の期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、別途検討いたします。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	2.5	15,800	1.3	16,000	1.9	10,500	4.0	240.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	48,100,000株	2026年３月期	48,100,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	4,765,011株	2026年３月期	4,787,411株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	43,326,620株	2026年３月期中間期	43,908,193株

（注）１　期末自己株式数及び期中平均株式数(中間期)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託Ｅ口)が保有している当社株式を含めております。

２　2026年１月１日付で普通株式１株につき、２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数（中間期）を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)
決算補足説明資料は、2026年11月12日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの関連業界におきましては、大人需要を取り込んだ市場が好調に推移している一方で、原材料価格や物価の上昇、少子化、消費者ニーズの多様化、エンタテインメントのデジタル化が進むなど、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、玩具事業やアミューズメント事業が引き続き好調に推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は2,286億６千６百万円(前年同期比16.4%増)、営業利益は137億３千万円(同57.6%増)、経常利益は136億７千２百万円(同53.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は88億３千２百万円(同32.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①玩具事業

玩具事業につきましては、コンビニエンスストア向けのくじ商品が引き続き好調に推移したことに加え、「ポケモンカードゲーム」や、ガンダムシリーズのプラモデルの販売も伸長し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は1,090億６千１百万円(前年同期比26.8%増)、セグメント利益は73億２千９百万円(同45.2%増)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、映像パッケージ制作・流通事業を拡大したものの、市場の縮小をカバーするには至らず、売上高は前年同期を下回りました。利益面につきましても、当社買付洋画作品の投資損失が発生したことにより、前年同期を大幅に下回りました。

この結果、売上高は296億１百万円(前年同期比2.9%減)、セグメント損失は２億２千２百万円(前年同期はセグメント利益４億３千４百万円)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、前年同期と比較して大きなヒット商品に恵まれなかったことにより、売上高は前年同期を下回りました。利益面につきましては、当社独占流通作品やオリジナルゲームが好調に推移したことにより、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は439億５千７百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント利益は17億４百万円(同53.6%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具市場がヒット商品により大きく伸長していることに加え、当社が運営するカプセルトイショップ「ガシャココ」や、当社がバンダイナムコアミューズメント社と共同運営を行うカプセルトイショップ「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」「ガシャポンのデパート」の店舗の増加も貢献し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。なお、「ガシャココ」は2026年９月末日時点で171店舗を出店しております。

この結果、売上高は460億４千４百万円(前年同期比47.8%増) 、セグメント利益は56億円(同99.4%増)となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ202億１千３百万円増加し、1,642億１千６百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加88億１千３百万円、現金及び預金の増加74億３千５百万円及び棚卸資産の増加32億５千２百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ138億６千５百万円増加し、975億８千２百万円となりました。これは主に、買掛金の増加153億９百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ63億４千８百万円増加し、666億３千４百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益計上による利益剰余金の増加88億３千２百万円、その他有価証券評価差額金の増加10億９千６百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少35億９千８百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月14日の「2026年３月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました2027年３月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,825	58,261
受取手形及び売掛金	50,860	59,673
電子記録債権	4,065	4,942
棚卸資産	8,689	11,941
その他	6,451	5,344
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	120,888	140,157
固定資産		
有形固定資産	5,172	5,044
無形固定資産		
のれん	1,460	1,168
その他	1,586	1,474
無形固定資産合計	3,046	2,642
投資その他の資産		
投資有価証券	7,997	9,612
その他	7,314	7,466
貸倒引当金	△416	△707
投資その他の資産合計	14,895	16,371
固定資産合計	23,114	24,059
資産合計	144,003	164,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,154	70,463
未払法人税等	4,179	4,529
賞与引当金	316	361
その他	16,610	13,879
流動負債合計	76,261	89,234
固定負債		
株式給付引当金	473	544
役員株式給付引当金	748	748
退職給付に係る負債	3,502	3,554
その他	2,732	3,500
固定負債合計	7,456	8,348
負債合計	83,717	97,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	3,353	3,353
利益剰余金	54,275	59,509
自己株式	△4,840	△4,806
株主資本合計	55,539	60,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,336	5,432
繰延ヘッジ損益	7	△8
その他の包括利益累計額合計	4,343	5,424
新株予約権	402	402
純資産合計	60,285	66,634
負債純資産合計	144,003	164,216

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	196,435	228,666
売上原価	171,396	196,262
売上総利益	25,039	32,403
販売費及び一般管理費	16,328	18,673
営業利益	8,710	13,730
営業外収益		
受取利息	36	83
受取配当金	113	126
その他	82	95
営業外収益合計	233	304
営業外費用		
支払利息	0	0
貸倒引当金繰入額	1	292
その他	24	68
営業外費用合計	26	361
経常利益	8,917	13,672
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	10	－
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除却損	4	27
特別損失合計	4	27
税金等調整前中間純利益	8,925	13,645
法人税、住民税及び事業税	2,469	4,399
法人税等調整額	△215	412
法人税等合計	2,254	4,812
中間純利益	6,671	8,832
親会社株主に帰属する中間純利益	6,671	8,832

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	6,671	8,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	792	1,096
繰延ヘッジ損益	12	△16
その他の包括利益合計	804	1,080
中間包括利益	7,476	9,912
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	7,476	9,912
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,925	13,645
減価償却費	692	554
のれん償却額	292	292
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	292
賞与引当金の増減額（△は減少）	61	44
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	118	52
受取利息及び受取配当金	△150	△209
支払利息	0	0
固定資産除売却損益（△は益）	1	27
投資有価証券売却損益（△は益）	△10	－
為替差損益（△は益）	6	24
売上債権の増減額（△は増加）	△11,238	△9,688
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,407	△3,252
仕入債務の増減額（△は減少）	8,434	15,309
その他	△3,737	△1,352
小計	990	15,741
利息及び配当金の受取額	153	212
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△2,661	△4,048
法人税等の還付額	29	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,488	11,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△192	△194
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△79	△121
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	67	－
貸付けによる支出	△377	△534
その他	△3	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△585	△871
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△2,362	△3,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,362	△3,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,436	7,435
現金及び現金同等物の期首残高	40,977	50,825
現金及び現金同等物の中間期末残高	36,540	58,261

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	86,007	30,492	48,783	31,152	196,435	－	196,435
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	86,007	30,492	48,783	31,152	196,435	－	196,435
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	86,007	30,492	48,783	31,152	196,435	－	196,435
セグメント利益	5,046	434	1,109	2,808	9,399	△689	8,710

（注）１．セグメント利益の調整額△689百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△689百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	109,061	29,601	43,957	46,044	228,666	－	228,666
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	109,061	29,601	43,957	46,044	228,666	－	228,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	109,061	29,601	43,957	46,044	228,666	－	228,666
セグメント利益又は損失(△)	7,329	△222	1,704	5,600	14,412	△681	13,730

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△681百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△681百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。